

第4回 岩見沢市総合計画策定市民会議 議事録（要旨）

● 日時、出席者等

日時	平成 29 年 11 月 22 日（水）14 時 00 分～16 時 05 分
会場	岩見沢市役所 3 階 第 1・2 会議室
出席委員等	委員 12 人
傍聴者	1 人
事務局	5 人

● 議事録（要旨）

会 議 次 第	協 議 内 容
1 開会	
2 会長挨拶	
3 報告事項	
(1) 序論・基本構想（素案）について	<p>○事務局から、資料に基づき、序論・基本構想（素案）について説明を行いました。</p> <p>■序論・基本構想（素案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月1日から14日までの2週間にわたり、基本構想（素案）に対するパブリックコメントを実施しました。 ・意見提出者は9人、性別内訳は男性8人・女性1人でした。 ・件数は基本施策単位で算出し、38件でした。 ・意見内容は、抽象的な基本構想に対してというよりは基本計画に盛り込まれるような個別具体的な取組みについてのものが主でした。 ・パブリックコメントにおいて基本構想（素案）の内容については、特段の異議がないということで、現在のところ、素案のまま置いておくということで考えています。
(2) 基本計画の策定について	<p>○事務局から、資料に基づき、基本計画の策定について説明を行いました。</p> <p>■基本計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回まで、6つの基本目標を単位として順に自由にご

	<p>意見をいただいたところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は、基本目標 4 豊かな心と生きる力をはぐくむまちから再開させていただきます。 ・行きつ戻りつでかまいませんので、基本計画の策定にあたり考えていることがありましたら、ご意見をいただきたいと思います。 ・皆様のご意見は全て事務局でお預かりし、基本計画の形に整えたものを改めてご提案いたします。
<p>4 協議事項</p> <p>(1) 序論・基本構想（素案）について</p>	<p>委員から次のようなご質問・ご意見がありました。</p> <p><u>意見募集結果 P10「地域で支え合う 安全・安心なまち」</u></p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが主体となって地域課題の解決に取り組むことはとても大切です。 ・その支援として行政ができる仕組みを明確にし、周知していただきたいと考えます。 ・町会連合会では、地域と行政との連携が組織化されており、市民一つ一つの要望に対処する状況となっています。 ・町内会の会員や役員が高齢化していることにより、町内会の運営が難しい状況になっています。 ・市役所に「市民連携室」という部署ができてから、そこに地域課題を相談すると、担当者が解決に向けて動いてくれます。
<p>(2) 基本計画の策定について</p>	<p>委員から次のようなご質問・ご意見がありました。</p> <p><u>子ども・子育て支援の充実について</u></p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権、心の教育、子どもの自己肯定感を高める取組み、いじめや虐待の問題など、子ども目線に立った内容が必要かと思えます。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課と基本計画に関する打合せにおいて、担当課から同内容の指摘がありましたので、このご意見の内容は盛り込みたいと考えています。 <p>(委員)</p>

- ・人口減少対策もあり、婚活支援や希望する方に出産を促すことを進めていくことも必要と考えます。
- ・子どもの世界では、近所の年上の子から物事を教わることで社会性を身に付けていったものですが、核家族化・時代の変遷により減っている現状です。身近な町内会が私たちにとって良いものになればいろいろな問題が改善すると思います。
- ・少子化の影響もありますが、町内会では子供を対象とした行事が少なくなってきましたが、やり方を工夫しながら続けていき、子どもたちに岩見沢の地域性を定着させる必要があるのではないかと考えます。

学校教育の充実について

(委員)

- ・不登校の児童生徒へのカウンセリングといった支援の充実が必要であると思います。
- ・人権は生まれながらに持つ権利であり、自分の権利を守るとともに他人の権利を守るといった、心の教育を学ぶ場が学校現場にあればいいと思います。
- ・岩見沢の基幹である農業の大切さを学べる場があるといいと思います。
- ・地域に寺子屋的な学習の場があると、学力向上につながるのではないのでしょうか。

(委員)

- ・岩見沢には貧困児童がどのくらいいるのでしょうか。

(事務局)

- ・どこまでを貧困児童というのか難しいですが、担当課と協議の上、あらためてご提示いたします。

(委員)

- ・学校教育は小中学校と市立の緑陵高校が計画の中心ですが、その他の高校教育の充実について、適正規模の維持を含めて総合計画にどの程度盛り込めますか。
- ・既に担当部と話をしており、どの程度盛り込めるか盛り込めないかということを調整していますので、案を作成次第、あらためてご提示いたしたいと考えております。

芸術文化・スポーツの振興について

(委員)

- ・文化の振興では高齢化が進んでいます。若い人は子育てや仕事が忙しく、文化活動・サークル活動になかなか参加してもらえない現状があります。
- ・芸術文化（美術）では、「見る」ことに重きが置かれがちですが、「使う」という観点も重要であり、新しい伝統や文化を「つくる」ことも大事だろうと思います。
- ・駅舎での美術展覧や公開講座など市民と教育大・学生との交流も深まっていることから、大学と地域の連携をもっと強調した方がよいと思います。また、そのPR ももっと進めてはいかがでしょうか。
- ・岩見沢には原正市さんや氷室冴子さんがいましたから、市民がみんなで力を合わせて盛り上げて、芸術の岩見沢にしていっていいのかなと思います。

公共交通の利便性の向上について

(委員)

- ・JR 北海道では室蘭線が維持困難路線とされています。貨物輸送の観点からも重要な路線であり、維持に向けて強く要望していければいいと思います。

(委員)

- ・バス路線の再編がありました。その後の利用状況はどのようなものなのでしょうか。

(事務局)

- ・（再編時期の）10月からの利用状況について、確認後あらためてご報告いたします。

地域情報化の推進について

(委員)

- ・光ファイバの敷設開始から15年以上経ちますが、先進性を維持するため、基盤の継続的な整備が不可欠です。
- ・岩見沢市では情報通信基盤（ハード）の整備が100%という状況にあり、全国でもトップクラスですが、こ

<p>5 その他</p> <p>6 閉 会</p>	<p>れをどのように活用していくか、教育・雇用・人口増に活かすかが大事であると思います。</p> <ul style="list-style-type: none">・AI の活用が今後 10 年でどの程度まで進んでいくのか興味があります。 <p><u>持続可能な行財政基盤の確立について</u></p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・水道や下水道などのインフラや公共施設の維持・更新・管理にあたっては、精通した職員を内部に抱え、ノウハウを維持していくことも必要と思います。 <p>○事務局から、次回の開催日時・場所を提案</p> <ul style="list-style-type: none">・次回は 12 月下旬の開催を予定・現在のところ、詳細な日時・場所は未定・決まり次第、ご案内します
---------------------------	--